

横手支援学校 P T A 会報

発行
横手支援学校 P T A
印刷
伊藤印刷所
☎ 32-3797



P T A 活動に 多大なるご協力を！

P T A 会長 高橋 久和
(中一 健介)

今年度、P T A 会長を務めさせていただく高橋です。子どもがまだ中学部の私が P T A 会長の大役を仰せつかることは、夢にも思いませんでしたが、引き受けたからには微力ではありますが、一所懸命頑張る所存ですので宜しくお願い致します。

今年度の P T A 活動は、昨年度秋田市で開催された全国特別支援学校知的障害教育校 P T A 連合会秋田大会のような大規模なイベントはありません。しかし、秋田県特別支援学校 P T A 連合会の行事として、八月五日・六日の二日間、秋田ふるさと村において学校展が開催されます。主に秋田県内の特別支援学校の紹介と子どもたちの作業学習製品等の展示(写真・パネル)や販売を予定しています。今回、横手支援学校が主管校にあたり、会場のふるさと村で使用する机等の準備が前日から必要となつてきます。後日お手伝いをお願いの文書が出ると思いますが、P T A の皆様のご協力が必要不可欠となっております。せっかくなので携わる機会ですので、その際は皆様の「ご協力を宜しくお願い申し上げます。

今年度の P T A 活動も、第一回環境整備は大勢の子どもたちと保護者が集まっていたいただきましたが雨天のため中止となり、その分、運動会ではお天気に恵まれ、大成功に終わることができました。今後も研修視察・ヘルマール収集・親子ふれあいデー等行事が目白押しとなっております。

子どもたちの笑顔が満ち足りた充実した学校生活となるよう、私たち保護者も学校と協力しながら各種行事を進めていきたいと思っております。

そのためにも、P T A 各位のご協力をこの紙面上を借りてお願い申し上げます。どうか今年一年間よろしくお願いいたします。



中学部記念写真

平成二十九年度は、小学部三名、中学部五名、高等部五名、計十三名の新しい P T A 会員の方々をお迎えすることができました。
一年を通して様々な P T A 主催・協賛の行事や活動がありますので、一緒に身体を動かしながら、親睦を深めていきたいと思っております。



小学部記念写真



高等部記念写真



高等部記念写真



小学部記念写真

新 P T A 会員から

成長の日々

齊藤 幸久(小一 優真)

入学式より早々と三か月が経ちました。P T A 授業参観、運動会と行事の中で、子どもが家庭に居る姿と一生懸命学校の生活で様々なことを学び、成長して帰ってくる姿に、とても大きい変化があり、父としてうれしく思っております。週報での子どもの記録を見て、どの様なことに興味があり、何が見えてきているのか、成長の日々に期待ばかりです。親子共に宜しくお願い致します。

新 P T A 会員になって

伊藤 亜希子(中一 亜海花)

春に在校生の皆さんから温かく迎えて頂いた入学式から、三か月が過ぎました。中学部からの入学ということで、環境の変化に戸惑っていないかと思いましたが、要らぬ心配でした。娘は毎日、大好きな友達や先生方とのやり取りを嬉しそうに話してくれます。そんな子どもたちの笑顔が増々大きくなるよう、P T A 活動に参加していきたいと思っております。

将来の姿

松井 妃奈子(高一 悠真)

入学から早いもので三か月が過ぎようとしております。進学する時には、悩み考え悠真に良い路をと決めました。色々な行事や毎日の作業学習の中で自分の役割もだいたい定着し、毎日の学校や家での生活がとても充実しているように思います。家のことも良く手伝ってくれる姿は、頼もしいです。将来、学校で学んだことを忘れず、色々チャレンジ出来る社会人になってほしいと思っております。三年間よろしく申し上げます。



1 学期の主な活動

- 厚生部 運動会
- 厚生部 第 1 回 環境整備
- 文化部 P T A 会報の発行

運動会への協力



いよいよ始まります。みんな、ガンバって!!



暑い中、おつかれさま。



頑張りましたね。ハイッ！メダル♥



ゴールテープを持つ手が震えています…。

第 1 回 環境整備活動

あいにくの雨で中止でしたが、たくさんの方々が当日集まってくれました。秋に行われる二回目の環境整備が晴天となり、皆さんと一緒に活動できることを願っています。



結果発表！ドキドキの瞬間。



みんな楽しみ、パン食い競走

P T A 会報 115 号の発行



P T A 会報に載せる写真に付けるコメントを考えました。

P T A 会報担当の専門部員七名中五名の方が参加され、六月十四日に編集会議を行いました。

アラカルト 家族に支えられて



古関 みどり (中一 龍生)

今年の4月から支援学校にバス通学で行っています。私は仕事で朝早く出るの、送りはおじいちゃんや担当です。朝食はおばあちゃんや毎日作って食べさせてくれています。高三のお姉ちゃんやいますが2人はけんかしたのを見たことがまずないと言ってもウソではありません。性格上きつちりしているお姉ちゃんですが、弟が度々自分の部屋に入ってメチャクチャにしても何一つ怒らないというのもすごいです。幼いとき、息子の方がやはり手がかかるので、お姉ちゃんにはさみしい思いをさせたと思います。それを思うと胸が痛みます。お父さんはいつでも息子の相手をしてくれています。家族みんなが良き理解者であり、今まで大変だったことも乗り越えてくれたのは家族のおかげだといつも私は思っています。ここでみんなに「いつもありがとう」と言います。

編集後記

昨年度からの申し送りを受けて、今年度、P T A 会報の発行回数を減らし、年二回とすることになりました。紙面の方も、写真をこれまでよりも多く掲載してみました。

今号についての感想を、聞かせていただけるとありがたいです。

担当 佐藤 晴美 (中一 瑠菜)